

つみきでんしゃでしゅっぱあつ!

ここは、くりのきょうちえん。くまのムックと うさぎのララ、
きつねのケンケン、りすのチロ、ねこのミー、ぞうのパオが、
まいにち なかよく あそんでいます。

ムックは つみきで でんしゃごっこを しています。

「わたしも あそびたいな・・・。」

ララは いいました。

「いいよ。」

「よいしょ。よいしょ。」

ララは つみきを はこんで きて
ムックの うしろに つなげて のりました。

のこっている つみきは あと3つ。

「しゅっぱあつ。」

そこに、ケンケンが やってきて

「いれて。」

とって、ララの うしろに つみきを つなげて のりました。

こんどは、チロが やってきて

「いれて。」

とって、ケンケンの うしろに つみきを つなげて のりま
した。

それを みていた ミーが

「たのしそう。わたしも いれて。」

といいました。

ミーは みんなの うしろに つみきを つなげて のりました。

「ながい でんしゃに なったね。」

「でんしゃって たのしいねえ。」



つみきは どうとう なくなりました。

みんなの たのしそうな こえを きいて、パオが やって
きました。

「ぼくも いれて。」

「もう つみきが ないから だめだよ。ごめんね。」

ムックが いいました。

「いやだ いやだ。ぼくも いれて！ でんしゃに のりたい！」

パオは おこって あしを ドンドン させました。

「う……。いじわる いうなら つぶしちゃうぞ！」

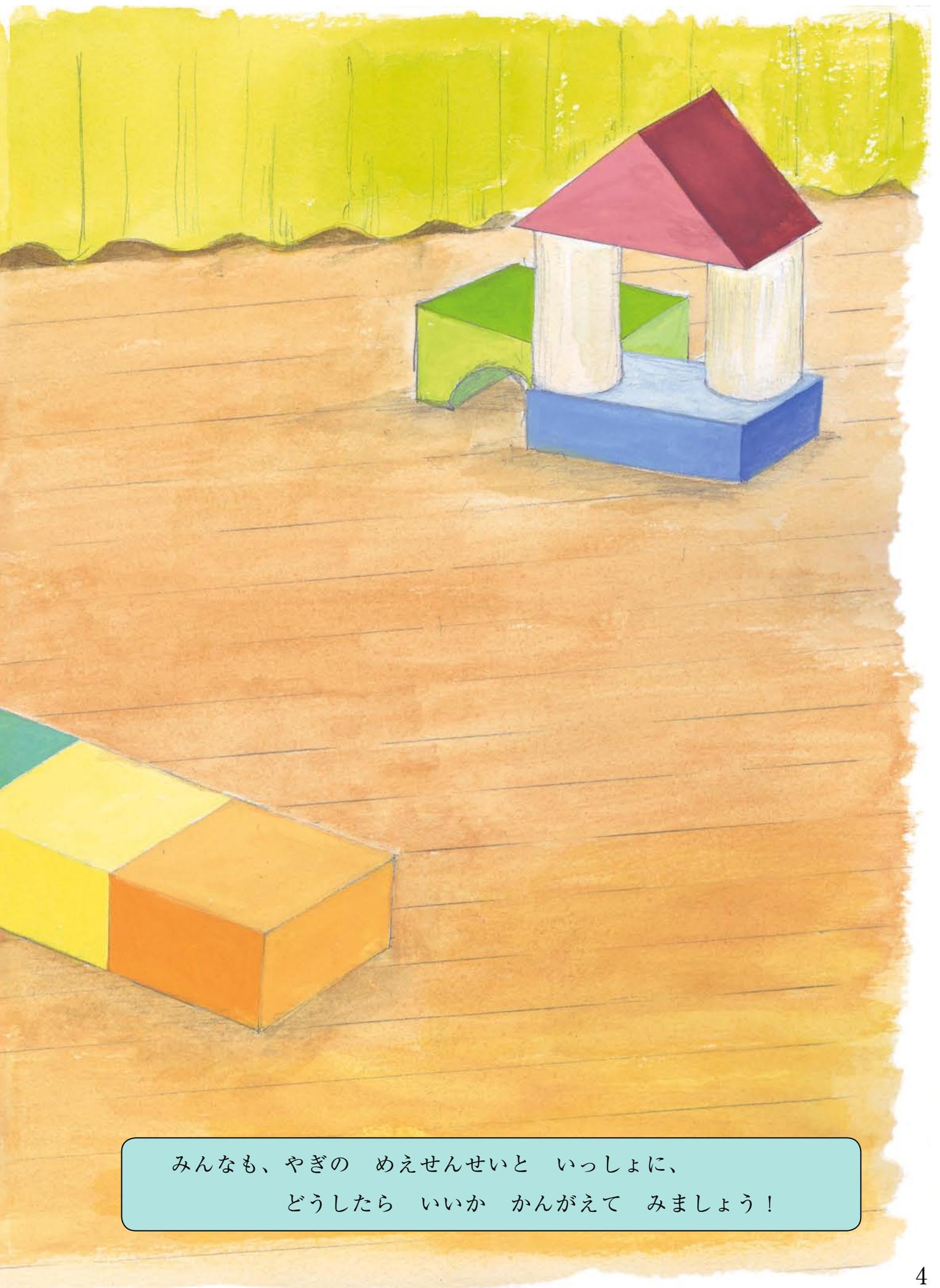
パオは なきだしました。

「せんせい、パオくんが つぶすって いったあ。」

ミーも ないて しまいました。







みんなも、やぎの めえせんせいと いっしょに、
どうしたら いいか かんがえて みましょう！

すると ケンケンが、

「パオくんは、やっぱり はいりたいんだよね。」

ぎゅっぎゅっ……。

「ぼくの うしろ ちょっと あいたよ。」

ぎゅっぎゅっ……。

「あっ！ わたしの うしろも あいて きた。」

「ぎゅっぎゅっ……。ぎゅっぎゅっ……。

みんなで ぎゅっぎゅっ……。」

「パオくん すわれるかな？」

「あと もう すこし。」

ぎゅっぎゅっ……。

「もう すわれる？」

「あっ！ もう すわれるよ。パオくん すわって みて！」



パオは そっと ミーの うしろに すわりました。

「すわれたあ！」

みんな にっこり。

「せんせい みて。みんな のれたよ。」

「わあい。」

さあ みんなを のせて

「つみきでんしゃ しゅっぱあつ！」

みんなの こえと ともに、つみきでんしゃは いきおいよく
にじに むかって はしりだしました。

